

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンサイトでのエクスカージョンは中止となりました。オンラインエクスカージョンでは下記の「長峰山蝶の森～長峰山山頂」のみのご案内となりますが、参考資料としてご覧ください。

当初版(参考)

日本景観生態学会 2021 信州大会エクスカージョン@安曇野のご案内

信州ならではの自然と景観のスケール感を背景に、北アルプスの裾野に広がる安曇野の3つの里地里山を巡ります。いずれも長い歴史のなかで豊かな生物多様性を育みながら、地域の人々の力によって受け継がれているフィールドです。

【日時】9月6日(月) 8:00～16:30 小雨決行 ※昼食は、各自事前に購入の上ご持参ください

◎参加費用:会員・非会員とも一般 6500 円・学生 3500 円(事前申込制ですが、集金は当日にします)

◎参加定員:27 名(小型バス2台に分乗:感染予防のため乗車定員の半分程度です)

【時間・スケジュール】(予定)

8:00 安曇野市役所 発 【自家用車の方:市役所の無料駐車場をご利用ください】

8:20 JR 田沢駅 発 【松本駅周辺にご宿泊ないし JR ご利用の方】 松本駅 8:08 発～快速～田沢駅 8:15 着
(バス移動約 20 分)

8:40～10:30 長峰山蝶の森～長峰山山頂【フィールド①】

標高およそ 900mにあるアカマツやコナラの里山林。放置されていましたが約 20 年前にNPO法人森倶楽部21によって再生され、今も手入れが続けられています。山頂の草原は、少なくとも戦前から採草地として利用されており、現在は北アルプスと安曇野を一望できる眺望地にもなっています。エクスカージョンでは里山林や山頂の草原を観察し、行政と市民の協働で維持されている里山保全の取り組みについてお話しします。



10:30 長峰山出発(明科方面へ)

途中、下車してマツ枯れ地を眺めます(※20分程度)

(バス移動約 40 分)

11:30 県営烏川溪谷緑地着 昼食・散策

※12:00～12:30 希望者には公園管理スタッフによる解説あり

12:30 県営烏川溪谷緑地出発

(バス移動約 20 分)

12:50～14:20 穂高牧の棚田【フィールド②】

北アルプス山麓集落にある棚田に残る多くの在来植物を観察します。圃場整備されていない曲線を描く耕作地や側溝の景観を眺めながら、地域の方にご案内いただきます。



14:20 穂高牧出発

(バス移動約 30 分)

14:50～16:20 大王わさび農場【フィールド③】

北アルプスを源とする犀川・穂高川・高瀬川の3川が合流するエリア。豊富な湧水を利用したワサビ栽培が盛んな地域です。谷一帯に広がるワサビ田の景観をお楽しみください。澄んだ湧水を湛えた水路には、バイカモや外来植物のオオカワヂシャが繁茂しています。水車小屋の屋根は前日シンポジウムのパネリスト松澤朋典氏の手によるもので、ご本人より茅葺について解説していただきます。ワサビ等お土産もここで。

16:20 大王わさび農場出発

(バス移動約 15 分)

16:35 安曇野市役所 着 【自家用車の方】

16:50 JR 松本駅 着 【松本駅周辺にご宿泊ないし JR ご利用の方】(※行きの JR 田沢駅とは異なります)